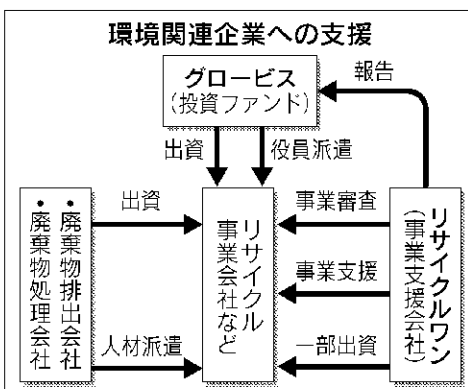


環境関連企業に投資

リサイクルワンとグロービス

専門家派遣し事業支援

廃棄物処理コンサルティンクのりサイクルワン(東京、木南陽介社長、03・3464・3566)とベンチャーキャピタルのグロービス・キャピタル・パートナーズ(東京・千代田、堀義人代表)の両社は、リサイクルや環境、エネルギー関連企業を対象にした投資・育成事業を始める。企業選別能力と資金力を持ち寄り、投資効果を高める。今後二年で二十社程度に投資する計画だ。



このほど投資主体とな 社を通じて出資する。最 事業を支援する。廃棄物 持ち株会社を設立し 大で一社当たり二億円程 を排出する大企業からの 投資資金は二十億 度出資する。 出資も呼び込む。 三十億円で、グロービス リサイクルワンは投資 第一号案件として、回 のファンドから持ち株会 先に専門の人材を派遣、 収した容器包装プラスチック

ックなどから新素材を製 リサイクル、バイオマス 法改正とともにリサイ 造するリサイクル事業を (生物資源) 発電などの クル施設の建設が盛んに 営む秋田エコプラッシュ 事業分野を開拓する。 なっている。ただ、主体 (秋田県能代市) に七千 ファンドは投資先を個 となる廃棄物処理関連企 万円を八月に出資。同社 別に株式公開させたり、 業は事業規模が小さく、 は地元企業を含む複数企 保有株をリサイクルワン 資金調達力も乏しい場合 業の共同出資会社で、フ に買い取ってもらい資金 が多い。 アンドから役員も送り込 回収する。一方、リサイ 環境関連事業について む予定だ。 今後は年内に三社、二 の拡大による成長を目指 けては大手銀行が融資枠を設 年、将来の上場を視野に けるが、株式に出資 する資金供給はなお、不 十分とみられている。 入れている。